

吊り下げ型緩衝材による 青果物の損傷防止

研究の内容

青果物を物流時の振動・衝撃等から保護し、高品質の維持とロスの低減を図るため、最近開発された新しいタイプの緩衝包装である、吊り下げ型緩衝材を用いて、青果物の損傷防止を図る。

技術の特徴

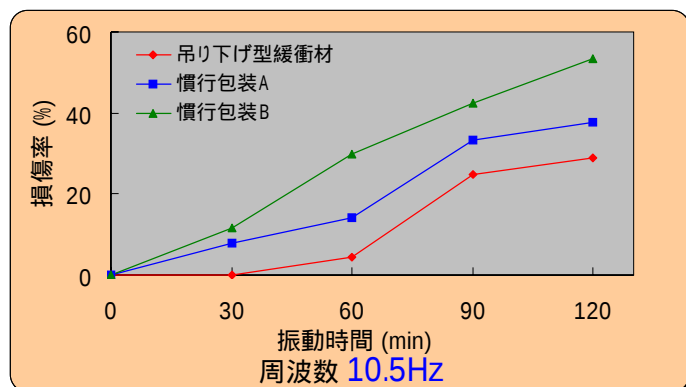
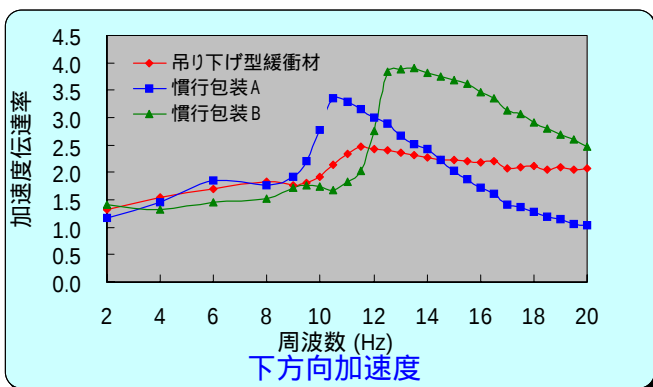
青果物を包み込む不織布(ポリエステル製)とこれを支える成形底容器から構成される。
不織布の伸縮により輸送・荷扱いにおける振動・衝撃から青果物を保護する。
慣行包装に比べ、共振周波数における加速度伝達率が小さく、青果物(モモ)の損傷も少ない。



包装形態



吊り下げ型緩衝材



今後の展開

各種の青果物に対応した緩衝容器の開発
緩衝性能向上のための不織布、底容器の設計、製造方法の開発
緩衝材の素材としての生分解性プラスチックの導入



代表研究者: 森 良種
所 属: 食品工学部 流通工学研究室

問い合わせ先: 研究交流科 関谷 修三
e-mail: atunisi@nfri.affrc.go.jp